

患者さんへ

研究課題名:「緊急度判定支援システムトリアージを受けた入院患者のアンダートリ

アージの関連因子を早期警告スコアから検討する」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2025 年 4 月～2026 年 3 月に当院で時間外外来を受診し緊急度判定支援システム (JTAS) でトリアージをして入院された患者さん
2 研究目的・方法	時間外外来を受診し、JTAS を用いてトリアージを実施した後に入院となった患者さんを対象として、早期警告スコア (NEWS) を用いてトリアージの適切性を検証し、適切なトリアージが行われなかった要因を明らかにすることを目的とし、診療録等の情報を用いて行います。 当院では、時間外外来を受診した患者さんに対し、看護師が JTAS を活用して患者さんの緊急性を 5 段階で判断しています。しかし、入院となった患者さんの中には、敗血症性ショックなど緊急かつ重症度の高い患者さんが存在し、一部の症例では適切なトリアージレベルが評価されず、適切な医療介入の遅れが生じている可能性があります。本研究により、より適切なトリアージの実施が可能となり、迅速な対応や適切な医療介入が期待できると考えられます。 研究の期間: 施設院長許可 (2026 年 6 月予定) 後 ～ 2027 年 6 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報: 年齢、性別、入院時の診断名、救急での JTAS による重症度判定結果、NEWS (呼吸回数、酸素飽和度、心拍数、血圧、体温、意識レベル) 等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 札幌東徳洲会病院、看護部 看護師 小林謙太（研究責任者） 住所：〒065-0033 北海道札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号 電話：011-722-1110（代）
-----------	---

2026 年 5 月 21 日作成(第 1 版)